

日米シニア野球へ高松で公開練習

12月18、19日に米国・ハワイで行われる日米シニア親善野球に参加する日本チーム「オーバーザレインボーズ」の公開練習が15日、高松市鬼無町の市西部運動センターで行わ



れ、70～80代のメンバーたちは、はつらつとしたプレーを披露した＝写真。

親善野球は高齢者の生涯学習に取り組むNPO法人が企画。「かつて戦争で戦った日本人と野球がしたい」という米国・セントピーターズバーグ市のシニア野球チーム「キッズ&カブス」と対戦する。メンバーは全国で募集した74～85歳の計19人で、従軍経験者も含まれる。

公開練習は地元のシニアソフトボールチームの協力で行われ、メンバーたちは打撃練習に取り組んだ。

戦時中に特攻隊の訓練を受けた経験がある同市一宮町の松本敏行さん(80)は「友好のため、和気あいあいとプレーしたい」と話した。